

院内学級の子どもたちが教えてくれたこと

# 自分も 相手も たいせつにするかかわり



そえじま まさかず

講師：副島 賢和さん

昭和大学大学院保険医療学研究科 准教授。  
昭和大学付属病院院内学級担当

院内学級で、笑顔を取り戻し、治療に向かう意欲を高めていく子どもたち。赤鼻の先生として、彼らと関わってきたその経験をもとに、子どもとの接し方について語ります。

## ◆申し込み：

**3月1日(水) 以降社会教育課へ**

市ホームページ申込みフォームまたは電話・ファクス・窓口で受け付けます。ファクスでのお申し込みは、3日以内に返信がない場合はお問合せください。

# 3月16日(木) 9:30~11:30

市民交流センター（オンラインライブ配信同時開催）

【お申込み・お問合せ】 逗子市教育委員会 社会教育課

電話：046-873-1111 FAX：046-872-3115

Eメール：syakaikyoku@city.zushi.lg.jp

【定員】会場・オンライン各50名程度 【費用】無料

○託児（先着5名）は3月2日（木）までに、要申し込み。

○手話通訳・要約筆記は3月8日（水）までに、要申し込み。

\* 終了後の録画配信はありません。



HPはこちらから

**講師 副島 賢和 (そえじま まさかず) さん**

昭和大学大学院保健医療学研究科 准教授

昭和大学附属病院内学級担当

東京都公立小学校教諭として25年間勤務。うち8年間品川区立清水台小学校（昭和大学病院内さいかち学級）担任。2014年4月より現職。

病気のある子どもの教育の保障を研究。学校心理士スーパーバイザー。

ホスピタルクラウン。横浜・北海道・福岡こどもホスピスプロジェクト応援アンバサダー。

TSURUMI・東京こどもホスピスプロジェクトアドバイザー。

NPO法人YourSchool理事。エンドオブライフ・ケア協会アドバイザー。

著書に『あのね、ほんとうはね』（へるす出版/2021年）。

ドラマ『赤鼻のセンセイ』（日本テレビ/2009）のモチーフとなる。

2011年『プロフェッショナル仕事の流儀』（NHK総合）に出演。



**開催方法 市民交流センター会議室およびYoutubeによるライブ配信**

**申込先 逗子市教育委員会 社会教育課**

\* 終了後の録画配信はありません。

ホームページ専用申込みフォームから

お電話で TEL 046-873-1111（内522）

ファクスで FAX 046-872-3115

**==== FAX申込書（このまま送信してください。） =====**

**FAX 046-872-3115**

家庭教育講座「自分も相手もたいせつにするかわり」に申し込みます。

<b>参加希望</b>	*いずれかの□にチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 講座（対面）参加希望（3月16日 9時30分～市民交流センター） <input type="checkbox"/> ライブ配信視聴希望（開催日2日前までに視聴方法をお知らせします）
<b>氏名</b>	
<b>住所</b>	<b>電話番号</b>
<b>メールアドレス</b> （配信視聴希望の方は必ずご記入ください、視聴方法をお送りします）	
*希望の場合、□にチェックを入れてください。何れも会場での参加者が対象です。	
<input type="checkbox"/> 託児希望 → 子どもの名前（ ）・月齢（ 歳 か月）・性別（ ） （3/2締切）	
<input type="checkbox"/> 手話通訳希望 ・ <input type="checkbox"/> 要約筆記希望 （手話・要筆とも3/8締切）	

※お申込みの際にいただいた個人情報は本事業のみに使用いたします。